

平成25年9月16日 台風18号 水害調査結果の概要について① (水害研究室)

水害研究室では、氾濫によって生じた堤内地における浸水被害の実態を把握するため、滋賀県栗東市りっとうし (金勝川)と高島市(鴨川)、京都府福知山市及び舞鶴市(由良川)、京都市(京都市営地下鉄御陵駅)みささぎにおいて9月18日～19日に浸水深や家屋の被害状況に関する現地調査を行った。

<調査メンバー>

山本主任研究官、大浪研究官

<調査位置図>



①滋賀県栗東市金勝川



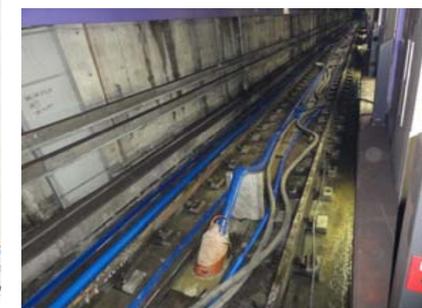
堤防決壊により、近傍の家屋基礎下部が氾濫流により洗掘を受け、土砂流出により家屋が傾いたり、浮いたりする被害であった。

②滋賀県高島市鴨川



堤防決壊箇所から500m離れているが、家屋の基礎下部が道路と水田の落差による落ち込みにより洗掘を受け家屋が傾いたり、浮いたりする被害があった。

③京都市営地下鉄 御陵駅

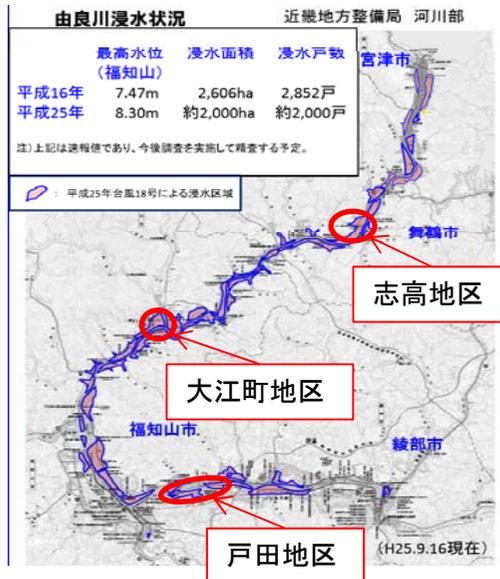


京阪線の地下トンネル入口より大量の雨水が浸入し、御陵駅～山科駅間のポンプ2台が故障して、トンネルが水没。御陵駅地下3階ホームの軌道もホーム下20cmまで冠水した。

平成25年9月16日 台風18号 水害調査結果の概要について② (水害研究室)

④京都府舞鶴市及び福知山市 由良川

<調査位置図>



平成16年台風23号災害を受け、水防災事業で実施。堤防未整備箇所より氾濫している箇所が多く見られた。



1階の屋根に痕跡＝約3mの浸水
家屋の損壊は見られない
(じわじわと水があがってきたため)

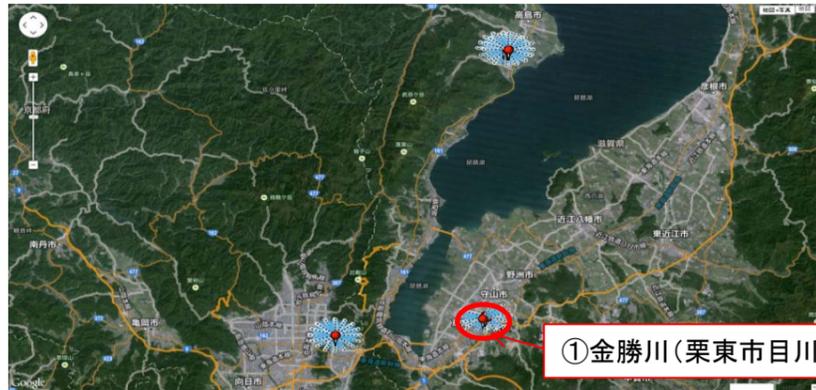
各家庭で水害対策の実施で被害を軽減



住家はピロティ、店舗は道路面高さに床面



浸水常襲地域のため、住家は高台に多い



①金勝川(栗東市目川利先)



付近の家屋では痕跡見あらず
→浸水深は小さかった可能性がある



決壊箇所を上流から望む



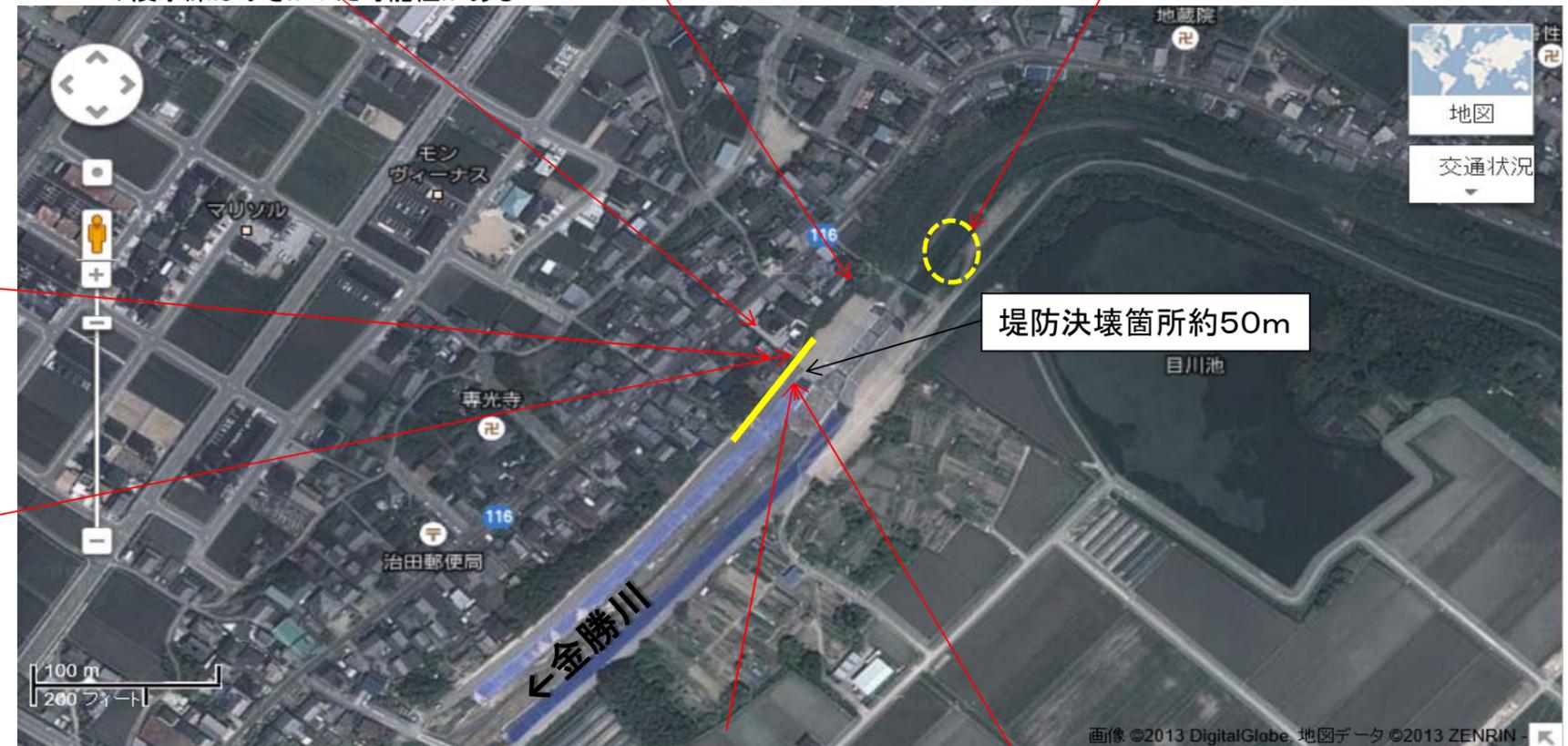
決壊箇所上流側も河道が洗掘していた



←金勝川



決壊近傍の家屋では基礎洗掘により傾いたり、浮いたりしていた



堤防決壊箇所約50m



元々の堤防高と想定されるライン

←金勝川

左岸側より対岸の決壊箇所を望む



敷地からの浸水深0.55m



湖西線の盛土で氾濫流が止まった可能性あり



決壊近傍の家屋は損壊なし



ビニールハウスの破損と水田の土砂堆積



基礎洗掘により倒壊した小屋と道路洗掘



基礎が洗掘した家屋



③京都市営地下鉄
(御陵駅)



トンネルの最深部にポンプ場が設置されているが、大量の雨水が一気に流入し、ポンプ2台とも冠水して故障。



御陵駅方面

京阪線の地下入り口

ここから雨水が地下へ侵入

京阪京津線
地下鉄東西線

○H25.9.16 5:15
運転見合わせ
○H25.9.19 21:30
運転を再開



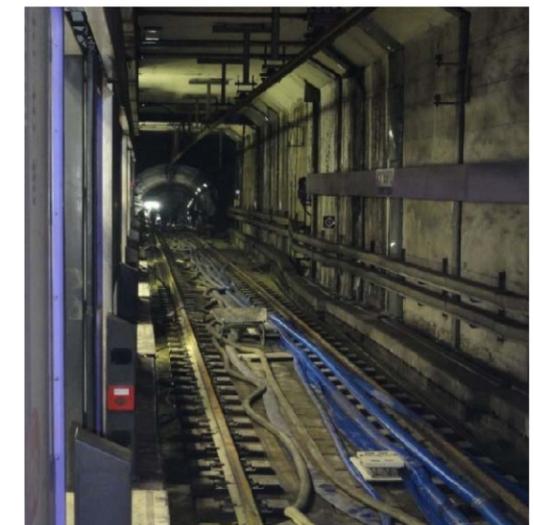
御陵駅2番出入口 排水作業



浸水被害による運行停止を告知する看板



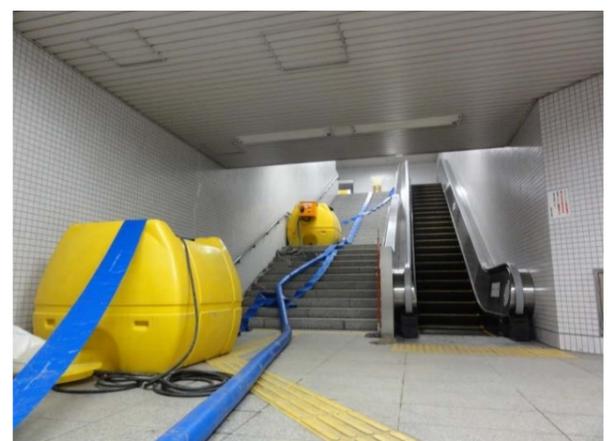
地下3階のホーム面下約20cmまで冠水



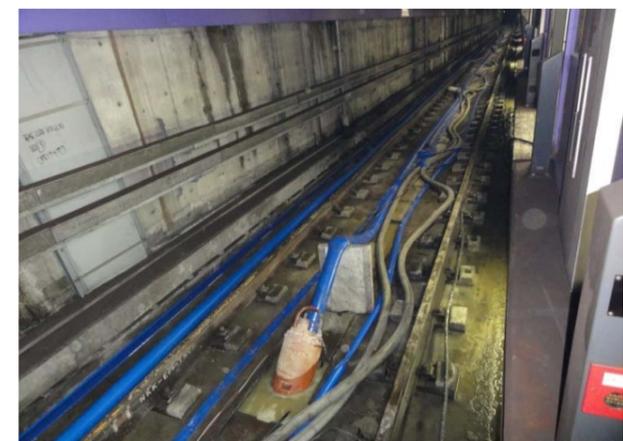
京阪線山科方面を望む
低くなっている。



改札口にて運行停止を告知する看板

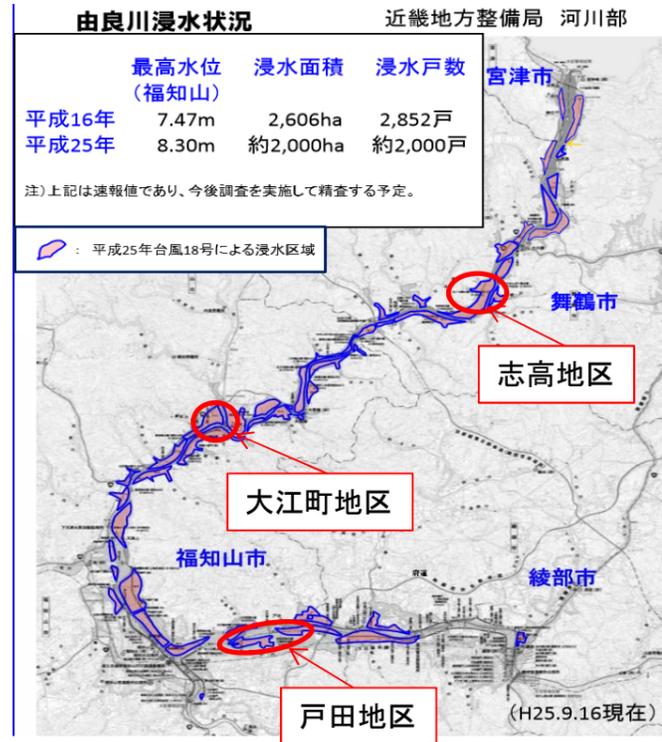


地下1階のコンコースでの排水作業中継地点



ポンプによる排水状況
調査時点(9/18 17:30)で駅からは10台体制で排水
ポンプ場でも10台体制で排水

※京都市営地下鉄御陵駅の許可を得て撮影



1階の屋根に痕跡=約3mの浸水
家屋の損壊は見られない



室外機は2階に設置している

舞鶴市志高地区



堤防未整備箇所



住家はピロティ、
店舗は道路面高さに床面



浸水常襲のため、住家は高台に多い

福知山市大江町地区

氾濫箇所(堤防未整備箇所)



堤防未整備箇所



鉄道盛土開口部より堤防を望む



盛土開口部から氾濫流が堤内地へ



鉄道盛土と堤防との間を氾濫流が流下



福知山市役所大江支所の浸水



大江支所正面玄関



正面玄関の浸水深80cm



周辺の浸水深約60cm



大江支所窓口が浸水
机撤去して清掃



プリンタ等の備品が被害

